

**理数教室 ロボットプログラミングに挑戦しよう**

講師：岡 佑輔 氏 プログラボ目黒

主催：目黒区教育委員会 主管：NPO 法人目黒ユネスコ協会 参加：26 名（小学 3～6 年生）

日時：2022 年 10 月 9 日（日）14：00～16：00 会場：中央町社会教育館



写真 1



写真 2



写真 3



今回のテーマは過去に 2 回開催していて人気が高く、募集人員を上回る申し込みがありました。最終的には講師の先生ともご相談して募集予定数を上回る人数で実施しました。最初に目黒ユネスコ協会為季会長から挨拶があり講義に入りました。

講義の流れはまず火星探査機をレゴで作成する工程から始まりました。スライドで説明される作り方に従って熱心に取り組みました。この探査機には頭脳に当たるミニコンピューターとモーターが組み込まれており、このコンピューターに指示を与えて探査機を駆動させるためのプログラムをタブレットコンピューターで作成します。（写真 1）プログラムが完成したら、火星や土星が描かれている板のうえで走行実験です。（写真 2）直進や右左折を繰り返して地球を出発点にて火星や土星に向かわせますが、直進距離や右左折のタイミングをプログラムで修正します。（写真 3）

最後は参加者全員で各自の作成した探査機の走行状態を比べて、うまくいった人にはみんなで拍手を送りました。今回の申込みに間に合わなかった方が多数いましたので再度この教室を開催する予定です。

理事 倉田 茂

**ウクライナ危機について**

(2022/9/17)

私たち NPO 目黒ユネスコ協会は、世界平和の実現に寄与することを目的とする民間ボランティア団体です。本年 2 月、ロシアの軍事侵攻によるウクライナ危機は、ウクライナ軍の反攻もあり、長期化し収束の兆しは見えません。この間、大勢の人が倒れ、国土は荒廃しています。大変悲しいことです。関係国には、直ちに停戦し、話し合いによる和平実現に向けて行動するようお願い致します。

私たちは、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコ憲章の精神を胸に、引き続き活動していきます。戦火を逃れて国外脱出した避難民に対する支援活動を、今後とも私たちのできる範囲で続けたいと思います。また、従来から実施している外国人の日本語学習のお手伝いや国際交流、外国語講座などを通じて、お互いに尊敬し合い、また互いの文化を理解・尊重することにより、草の根の相互理解と国際協力を進め、世界平和への寄与に僅かなりとも尽力してまいります

## ユネスコ文化講座 江戸川乱歩の生涯

### 孫から見た思い出を交えて「フリーターから大乱歩へ」

講師：平井憲太郎 氏 株 エリエイ代表取締役・としまユネスコ協会代表理事

主催：目黒区教育委員会 主管：NPO 法人目黒ユネスコ協会 参加：49 名

日時：2022 年 9 月 18 日（日）10：00～11：30 会場：中目黒 GT プラザホール



講師の平井憲太郎氏は、出版関係がご専門との自己紹介後、敬愛する祖父江戸川乱歩氏の足跡を、親しみを込めて語ってくださいました。

#### (以下概要)

江戸川乱歩は没落貴族の末裔だった。1894 年三重県名張町で誕生し、名古屋で少年時代を過ごした。乱歩は、内向的、几帳面で、整理好き、記録魔であり、詳細な家系図、住所一覧、付近の地図などを手書きで残している。外国語も堪能で、原文で英米文学を読みこなした。早稲田大学卒業後、商社に入社したが、1 年で退社。その後様々な職業を転々とした。引越しは生涯 46 回。

鳥羽の町で、知り合った女性と結婚した。その後大阪毎日新聞に入社。しかし新聞社もまたすぐ辞め、単身、上京し、いよいよ本命だった小説家を目指した。

若いときから温めてきたネタで小説家としてデビューすると、一躍、人気作家となった。「陰獣」「一寸法師」「孤島の鬼」等、妖しい連載小説を多数発表した。だが 3 年目にして、小説のアイデアに行き詰まった。それまで蓄財した資金で賄い付きの下宿屋を開業。これを家族の生活基盤とし、下宿屋経営は妻に任せ、「俺は遊びに行く」といって、半年余の長い放浪生活を度々繰り返した。この頃から全集出版が可能になり、経済的に安定してきた。また自身の蔵への憧れから、「土蔵の中で、ロウソクの明かりのもと、創作活動している」という、幻惑的なイメージを演出し、読者を驚かせて楽しんでいただようだ。

短編小説「芋虫」(近年、キャタピラとして映画化)を発表したところ、風紀を乱す、という意味で、発禁

とはならなかったが、注文がピタリと途絶えてしまった。加えて、小説家は本来ストレスフルな職業なので、あれやこれやで体調を壊し静養を余儀なくされた。

その後、子ども向けの探偵小説を書いてみないか、と勧められ、1936 年、怪人二十面相など、多数の少年向けの作品を発表し、子どもたちから絶大な人気を博した。当時のファンレターが、今も大量に残っているが、乱歩は大いに勇気付けられたことだろう。

戦後はもっぱら、評論活動、海外小説の収集や翻訳、ローマ字運動、探偵小説の後継者育成などに身を投じた。また自身の全集出版やラジオドラマの原作など、経済的に安定した時代を迎えた。

「純文学界から、探偵小説は低く見られている」という反発から、探偵作家クラブや、捕り物帳作家クラブ、また、江戸川乱歩賞を設立した。この賞は現在でも実力ある新人推理作家の誕生に大きく貢献している。晩年は、パーキンソン病等の成人病で苦しみ、1965 年、享年 70 才で没した。

#### (質問タイム)

①会場から若い時代に図書館の乱歩全集を全部読みました、という笑顔の発言が続いた。②鉄道ミステリーはありますか？という質問に、平井講師は、松本清張の「点と線」のような作品はないですね、と答えられた。③江戸川乱歩の名前の由来は？に、米国小説家の名前をもじったものだが、本人は「江戸川(当時は神田川)で、乱歩する」という趣向も込めていたとのこと。

私たちは、お孫さんの視点で語られた、乱歩の生い立ちから晩年までや、苦節を乗り越えた創作活動のお話に、乱歩小説にわくわくした若い頃を懐かしみ、また温かい感動を頂いた。

研修委員会 斉藤 真澄



## 受託語学教室 「中国語初級講座」

主催：目黒区教育委員会  
 主管：NPO法人目黒ユネスコ協会

講師：黄 愛華 先生 2022年9月7日10:00～ 毎水曜15回 男女平等・共同参画センター会議室

山西省ご出身の黄愛華先生を講師にお迎えして、9月から受託語学教室としてスタートしました。黄先生は来日33年半、企業や大学等での講師の経験が豊富な明るく元気いっぱいの先生です。クラスの構成は老若男女、全くの初心者、中国駐在経験者等。講座参加のきっかけも、「中国時代劇にはまって」、「仕事に役立てたい」等さまざまです。

中国語は発音や「四声」というイントネーションが難しく、つまづくことも多いのですが、黄先生はこの導入部分を徹底的に分かりやすく繰り返し教えてくださるので、初心者にはもちろん、既修者にもとても好評です。先日は、足し算引き算の問題を順番に出し合う



前列左から2人目 黄 愛華 先生

ゲームをしながら数字の学習をしました。ひとケタの計算ながら皆頭が混乱して、大いに盛り上がりました。途中休憩も忘れそうになるほどテンポよく進められる授業は、2時間があっという間に感じられます。楽しみながら、きれいな発音で

自然な会話ができるようになることも夢ではないかもしれません。

全15回の講座終了後、自主語学教室として継続の際には、今回残念ながら抽選に漏れた方々、新たに興味を持たれた方々にも是非参加していただきたいと思います。研修/中国語世話人 菱田 秀子

★写真撮影のため、9月21日に中国語初級講座へお邪魔しました。休み時間でしたが、熱心に質問する方も多く、授業中にお邪魔してしまっただけか？と思ったほどです。といっても、かしくまった雰囲気では無く、楽しさと活気にあふれていました。皆様のご協力を得て、笑顔のうちに撮影も終了。先生の明るさと受講者の皆様の熱気に包まれながら講座を後にしました。広報委員会 遠藤 裕子

## 受託日本語教室 「初めて習う日本語」

2022年9月6日～12月6日(毎火・木/全26回)中央町社会教育館

2022年も無事に「初めて習う日本語」教室が開催され、大変うれしく思います。まだコロナ禍でマスクをつけての授業ですが、声が通りにくい中でも、皆さん真剣に勉強しています。

今回も国際色豊かなクラスとなりました。アフリカはタンザニア、マラウイ、ヨーロッパはフランス、イギリス、アジアは韓国、インドネシア、遠く南米はウルグアイからの参加で、正に地球1周です。コロナ感染が始まって早3年、残念ながら帰国が叶わず、日本にずっと住み続けたため、結果としてすばらしく日本語が上達した人もいます。怪我の功名というのでしょうか。これから先も長く学習を続け、日本語の良さが感じられるようになってほしいと願っています。



撮影時のみマスクを外しています。

日本語教室スタッフ 嘉納 優子



### 広島市市民局国際平和推進部平和推進課 被爆体験継承担当 芳原様からのお礼状

この度は、平和への願いがこもった折り鶴を送っていただき、誠にありがとうございました。私どもで折り鶴を捧げた際の写真をお送りいたします。広島市では、原爆で亡くなられた多くの方々の悲劇を繰り返さないために、核兵器のない平和な世界の実現に取り組んでいます。もちろん、これは広島市だけで成し得ることではなく、世界中の皆様の賛同と協力を必要としており、コロナ禍の中にあっても多くの折り鶴をお寄せいただいた皆様のお気持ちに敬意を表するとともに、改めて感謝申し上げます。

## 新型コロナウイルス感染防止のため、ご了承ください！

恒例事業の【交流ひろば: **文楽鑑賞 12 月公演**/国立劇場】は**中止**になりました。また、11 月以降の活動も、延期および中止になる場合があります。ご理解の上ご了承ください。最新情報は当協会の [HP](#) でご確認ください。

## ▲目黒ユネスコ日本語教室（令和4年度冬期）

・教室は、新型コロナウイルスの感染状況によっては on-line レッスンでの実施など変更となることがありますので目黒ユネスコ協会の [HP](#) をチェックしてください。

朝コース 2023 年 1 月 10 日～ 3 月 16 日  
毎週火曜日・木曜日(除く 2 月 23 日)  
午前 10:00～11:45 (19 回)

土曜コース 2023 年 1 月 14 日～ 3 月 18 日  
毎週土曜日(除く 2 月 11 日)  
午前 10:00～11:45 (9 回)

会場：めぐろ学校サポートセンター  
(目黒区中目黒 3-6-10 駐車場はなし)

定員：クラス定員 8 名 (先着順)

朝コース初級 5、土曜コース初級 5

対象：16 歳以上の日本語を習いたい外国人

講師：目黒ユネスコ協会 日本語教室担当会員

参加費：朝コース 5,700 円(19 回分)

土曜コース 2,700 円 (9 回分)

テキスト代は別途。

申込：当協会 [HP](#) 「日本語教室」の申込フォームに必要事項を記入して、**12 月 1 日以降に申込み**ください。

問い合わせ：e-mail：meguro@unesco.or.jp

## ★ユネスコ文化講座③

「日本の ODA(政府開発援助)と JICA の役割」  
(体験から報告)

日時:2023 年 1 月 28 日(土)14:00～16:00

会場:緑が丘文化会館

講師:伊藤 嘉一 氏

申込:ハガキ・FAX/当協会 HP の申込フォームから、  
講座名・住所・氏名・電話番号・同伴者氏名を明記。

締切:1 月 25 日

定員:50 名(参加費無料) 区報 1 月 15 日

## ■新年会のお知らせ

2023 年の新年会を計画していますが、詳細は次号(1 月号)のショートニュースでお知らせいたします。

## 【お詫びと訂正】

9 月発行のショートニュースのナンバー欄に、間違いがありました。

(誤) 356 2022. 7.13→(正) 357 2022. 9.14

■《書きそんじハガキ回収キャンペーン》  
ユネスコ世界寺子屋運動

期間：2023 年 1 月 16 日(月)～2 月 3 日(金)  
回収場所：目黒ユネスコ協会事務局(五本木小内)、目黒区施設・区立小中学校に設置する回収箱に。貧困や紛争等、様々な理由で学校へ行けない人々のために寺子屋を建設しています。寺子屋は勉強や職業訓練、地域の集会所として多様な役割を果たしています。書きそんじハガキは切手に交換し、日本ユネスコ協会連盟の [世界寺子屋運動](#) に寄付します。皆様からの温かいお力添えをお待ちしております。

## ■新入会員～ようこそ！～(敬称略)

◇ 伊藤 嘉一 ◇ 西條 愛

## 活動日誌 9 月～10 月

- ★9/2(金) 受託「日本語教育研修講座」開始
- ▲9/6(火)「目黒ユネスコ日本語教室」秋期開始
- ★9/6(火)受託日本語教室「初めて習う日本語」開始
- ★9/7(水)受託中国語初級講座
- 9/14(水)発送連絡会
- ★9/18(日)文化講座「江戸川乱歩の生涯」
- ★10/9(日)理数教室「プログラミング学習」
- ★10/29(土) 国際交流ひろば「ふろしき再発見」

## 11 月以降の予定

- 11/13(日) 第 3 回理事会
- 11/26(土)日本ユネスコ運動全国大会 in 木更津
- ▲2023/1/10(木)日本語教室 冬期開始
- 1/11(水) 発送連絡会
- 1/16(月) 書きそんじハガキ回収キャンペーン
- 日程未定 新年会
- ★1/28(土) 文化講座③
- ★2/3(金) 古代技法で作るガラス工芸
- 自主語学教室 6 講座 (仏 2・英 2・独 1・伊 1)

■目黒ユネスコ協会主催

●目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業

▲目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業

★目黒教育委員会からの受託事業



最新情報や申込フォームは HP からどうぞ!

## 【編集後記】

山から街へと下りてくる秋の気配の心地良い季節となりましたが、今年の夏の異常な暑さや、秋にかけて連続して到来した台風を経験すると、戸惑いと同時に不安さえ感じずにはられません。また、ウクライナでの紛争によるエネルギー不足は、迎える冬の厳しさへの更なる不安要素でもあります。

1 日も早く悲惨な戦闘が終結することを願いつつ、平和に向けてまた地球を守るため、小さな行動でも実践していこうと思いを新たにこの頃です。

鈴木やよい